

感動いっぱい 夢いっぱい

平成30年3月26日 No.37

3月20日(火)に卒業式を行いました。下級生にとっても優しくった4人。式が進むにつれて、卒業生の目に、保護者の目に、先生方の目に、そして在校生の目に涙が浮かんできました。卒業生・在校生共に、涙を流しながら歌を歌ったり、呼びかけを言ったりしました。あたたかい中で、4人の卒業生をお祝いすることができました。

わたしは、はなむけの言葉で、「志をもって 万事の源となす。」という吉田松陰の言葉を贈りました。女子バッシュートチームの優勝は、4年前の惨敗の悔しさから「世界一を獲る」という「志」をもったことが全ての始まりで、「成し遂げようとする目標に、心を決める」という大切さを話しました。子ども達が『目標にむかって努力する』という生き方をしているって欲しいと思います。

本日は修了式でした。『第〇学年の過程を 修了したことを証する。』という修了証を渡しました。「あゆみ」の内容は気にはなるでしょうが、修了証を見ながら「1年間よくがんばったね。」と、努力をほめてあげて下さい。それが、次の学年への活力につながると思います。



この1年間、大きなけがや病気もなく、子ども達が元気に学校生活を送ることができたのも、保護者の皆様の支えがあったからです。それは、子ども達の日々の様子からも感じることができますし、学校行事や参観日等への参加の多さからも感じることができました。保護者の皆様、1年間本当にありがとうございました。4月からも、子ども達がよいスタートを切ることができますように、よろしくお願いいたします。

3学きにがんばったことは、3つあります。

1つめはたしざんです。まちがえずに、できるようになりました。

2つめは、字です。きれいにかけるようにたくさん練習しました。

3つめは、うたです。すきなうたは「きずな」です。たかいこえが、でるようになりました。もっと、じょうずになりたいです。はじめはできなくても、なんかいもくりかえして れんしゅうしたら いろいろなことができるようになりました。2年生になっても、いろいろなことに ちょうせんします。

(1年 A・K)



ぼくがこの1年間で、一番がんばったことは、学校音楽祭です。「オブラディ・オブラダ」の曲で、ぼくは初めて大だいこをしました。少しむずかしかったけど、まちがえないようにがんばりました。

次がんばったことは、学芸会です。「エルコスの祈り」をしました。ぼくは、理じ長の役でした。せりふがたくさんあって、大変でしたが、さいごまでいっしょうけんめいできたので、よかったです。

4年生になって、楽しみなことは山の学習です。4年生もがんばりたいです。

(3年 A・K)



みなさんが思う最高学年とは、どんな人ですか。ぼくが思う最高学年とは、信頼されるリーダーです。

6年生を送る会では、初めて一番上の学年として、準備をしたり練習をしたりしました。自分たちで決めるのは、心配だったけど、責任をもって活動することができました。

信頼されるリーダーになるために、下級生のお手本になれるよう行動したり、積極的に考えて意見を言ったりしたいと思います。最高学年は2人だけだけど、前の6年生のように頼りになる6年生になりたいです。 (5年 M・Y)

